

高知憲法速報

No.218 2010. 2. 5

発行:高知憲法会議事務局 088-872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

2月1日高知憲法会議第9回総会

2010年度高知憲法会議総会を2月1日夜、高知民商会館会議室で開きました。この日は宿毛湾港に米イージスミサイル巡洋艦「レイクエリー」が入港した日で、高知を早朝に出発して朝8時からの抗議集会に参加していたメンバーも多く強行スケジュールでしたが、19人が参加して学習と議論を深めました。

総会に先立ち、春名なおあき代表委員を講師に、国会法改悪、小澤幹事長主導の国会改革、衆議院比例定数削減問題など当面している国会改革の問題について学習しました。首相の権限を強め、9条の実質改悪にもつながる「国会改革」が民主的手続きも破る形で進められようとしています。多くの人に知らせていく必要があります。総会ではこの内容で特別決議を採択し、与党3党と鳩山首相に決議文を送付しました。

議長に幹事の畑山和則さんを選出。山岡美和子代表委員が開会挨拶。徳弘嘉孝事務局長が総括、情勢、方針の提案。入江博孝事務局次長が決算、予算を提案。池上健夫会計監査が会計監査報告。議案の審議では、改定50年を迎える安保条約の問題について、その実態から憲法会議としてどのように運動していくのが議論になりました。基地の問題でも農業問題や政治の在り方についても安保にぶつかります。医療生協の生活と健康を守る様々な取り組みが詳しく報告され、すべての分野で憲法をくらしにいかすことの大切さが確認されました。結成された講師団を活用すること、月1回になった街頭宣伝署名(毎月19日)に参加すること、個人会員を拡大すること、広がりつつある共同の取り組みを強めることなどの発言もありました。

提案された議案は原案通り承認され、新年度役員も原案通り承認されました。代表委員は玉田嘉平、国松勝、野崎英明、西山潤、山岡美和子、谷脇和仁、春名なおあき、武井恵美子の8氏です。(敬称略)

1・29 普天間基地の即時返還、辺野古新基地建設と高知県の自衛隊「歓迎行事」に反対する集会

沖縄・普天間基地の即時返還を求め、辺野古への新

基地建設に反対、自衛隊第50普通科連隊の歓迎行事にも反対する集会が1月29日に開かれ、高知市役所前に180名が参加しました。主催4団体を代表して「平和な未来を考える高知の会」の田村和之さんが開会挨拶、「サロン金曜日」の松尾美絵さんが沖縄支援の報告を行いました。民主党武内参議院議員が連帯のメッセージを寄せ、社民党、共産党、新社会党の代表がそれぞれ挨拶。司会は県平和運動センターの山崎さん、閉会の挨拶は平和委員会の和田さんが担当しました。集会終了後中央公園までデモ行進しました。今後の運動の進め方については2月5日夜の会合で確認することになります。

米海軍ミサイル巡洋艦宿毛入港 2月1日

米海軍ミサイル巡洋艦「レイクエリー」が2月1日早朝、宿毛湾港に寄港しました。外務省の「核兵器搭載能力がなく核兵器を積載していないと信じる」旨の文書を受けて県として許可したものです。この艦は人工衛星を撃ち落とした実績もある最新型のイージス搭載艦で、米軍は核兵器搭載の有無については公表していません。私たちは核兵器搭載可能性濃厚な軍艦を受け入れることはできません。

「宿毛湾非軍事ネットワーク」が呼びかけた抗議集会が雨の中2月1日午前8時から宿毛湾港緑地公園で開かれ、150人が参加しました。集会中にレイクエリーが1万トンの巨体を見せて入港、参加者は岸壁近くまでデモ行進をして、豆まきで「アメリカ軍は出て行け」と抗議行動を行いました。集会後も宣伝カーで街頭宣伝などを行いました。2006年の「ラッセル」、2008年の「オカーン」に続く3隻目の入港、他に打診1回があります。高知新港には2009年に2回(「セーフガード」、「クロメリン」)入ることになっていましたが、台風などを理由に入港しませんでした。

「建国記念の日」に反対する集会

日時; 2月11日(木)午前10時~12時 9:30開場

会場; 人権啓発センター6階ホール(本町1丁目)

講演; 和光大学准教授・道場親信さん

演題; 「〈戦後史〉との対話」 参加費; 500円

当面の街頭宣伝署名予定

2月6日(土) 1:30~こうち九条の会

2月19日(金) 5:30~高知憲法会議

2月20日(土) 1:30~こうち九条の会

会場は帯屋町グリーンロード予定